



2021年3月期
第1四半期累計期間
(2020年4月1日～2020年6月30日)
決算説明資料

2020年7月31日
ディービーエックス株式会社
証券コード：3079

1. 当第1四半期（累計期間）の決算概況 P3

2. 業績予想 P13

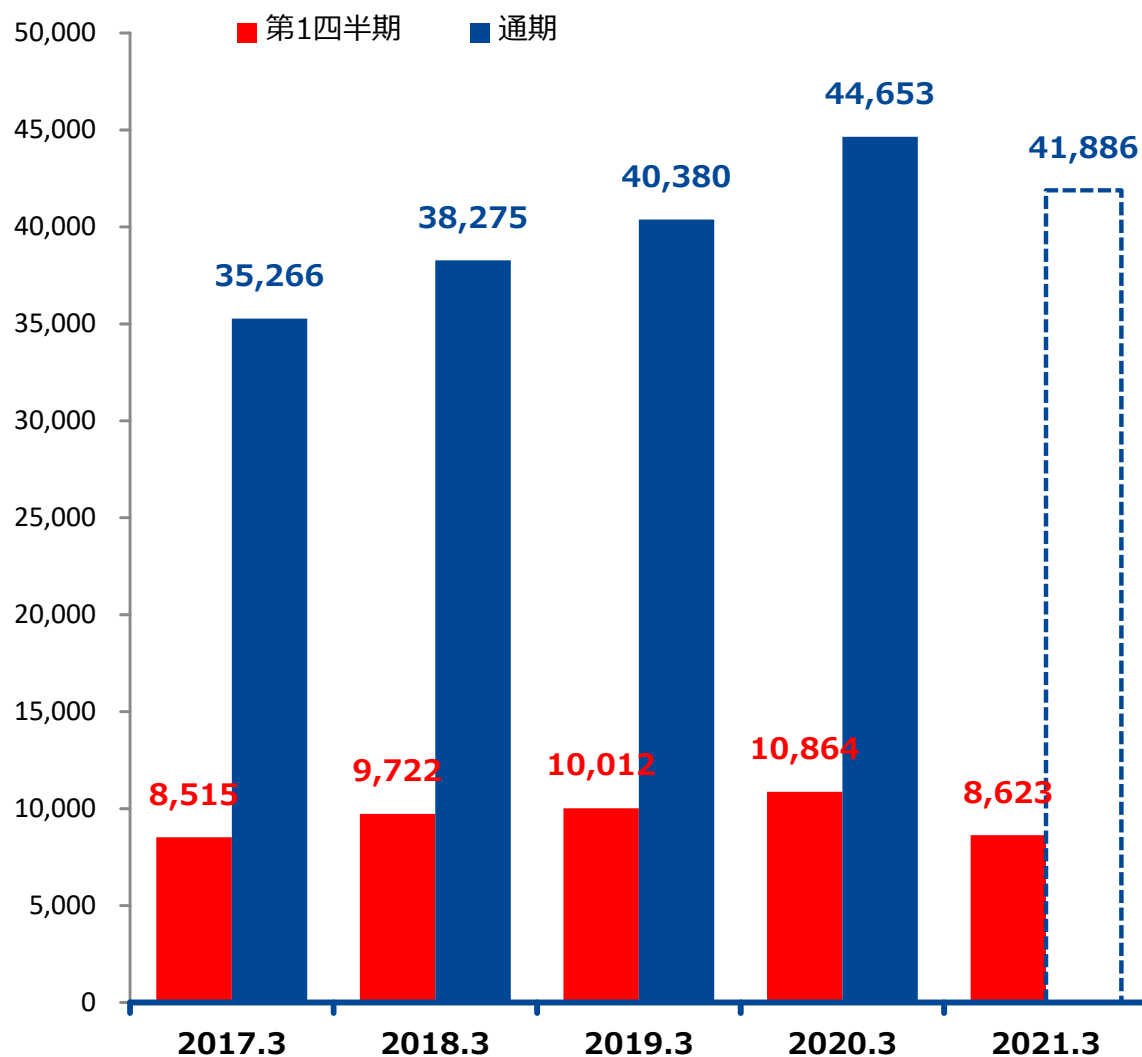
1. 当第1四半期（累計期間）の決算概況

要約損益計算書 (第1四半期累計期間)

	実績 (百万円)	対売上高 (%)	前年同期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,623	100.0	10,864	△20.6
売上総利益	990	11.5	1,250	△20.8
販管費	1,003	11.6	1,100	△8.8
営業利益又は 営業損失(△)	△13	△0.2	150	—
経常利益又は 経常損失(△)	△13	△0.2	157	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△11	△0.1	106	—

売上高

(単位：百万円)



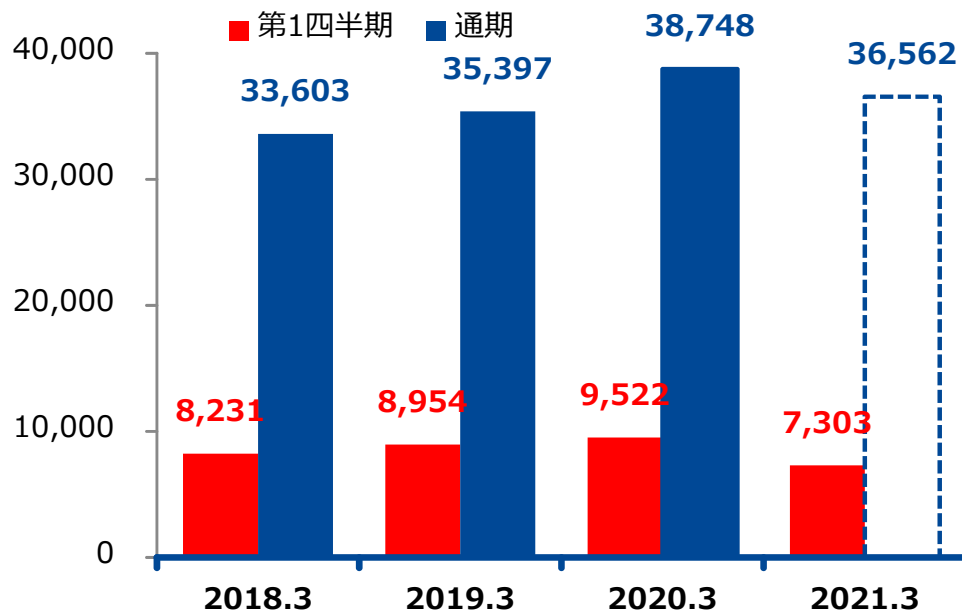
前年同期比**20.6%減**の
86.2億円

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	7,303	△23.3
虚血	727	△21.3
その他	591	+41.9
合計	8,623	△20.6

事業別売上高

不整脈事業

(単位：百万円)



売上高**73.0億円**

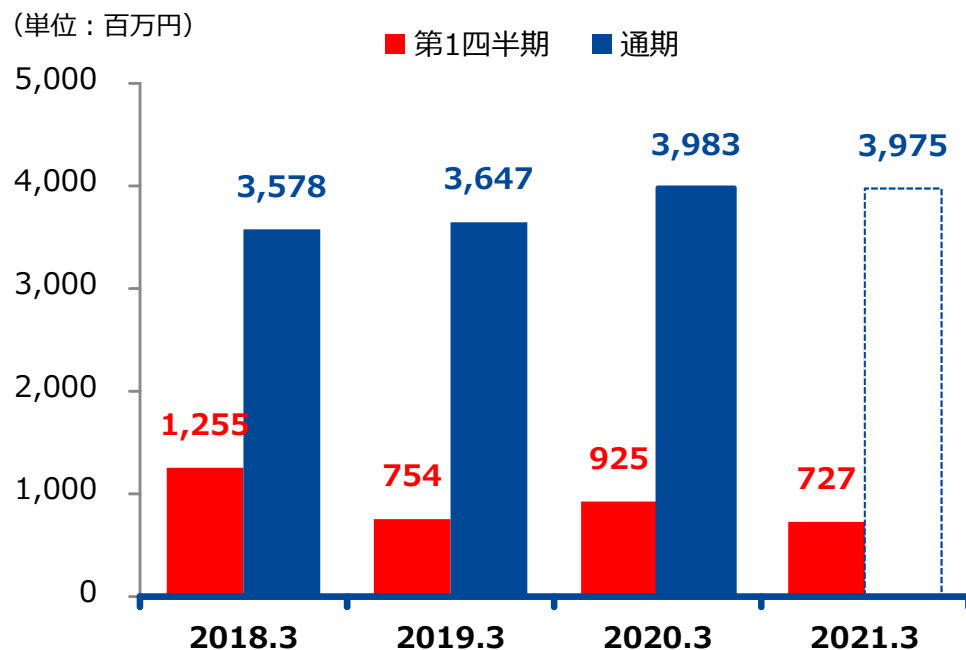
(前年同期比**23.3%減**)

- ✓ 緊急性が低い治療の延期による症例数減
- ✓ 首都圏、大阪エリアにおいて大きな影響が出たが、症例数の減少は5月がボトムで6月以降改善傾向

	実績 (百万円)	前年同期 実績 (百万円)	増減率 (%)
PM	771	909	△15.2
ICD	419	586	△28.4
CRT-D	480	449	+6.8
電極カテーテル	1,818	2,616	△30.5
心腔内エコーカテ	737	985	△25.1
ABL機能付	1,163	1,391	△16.4
ABLカテーテル	120	243	△50.3
冷凍ABLカテ	340	524	△35.2
その他	1,451	1,815	△20.0
合計	7,303	9,522	△23.3

事業別売上高

虚血事業



売上高**7.2億円**

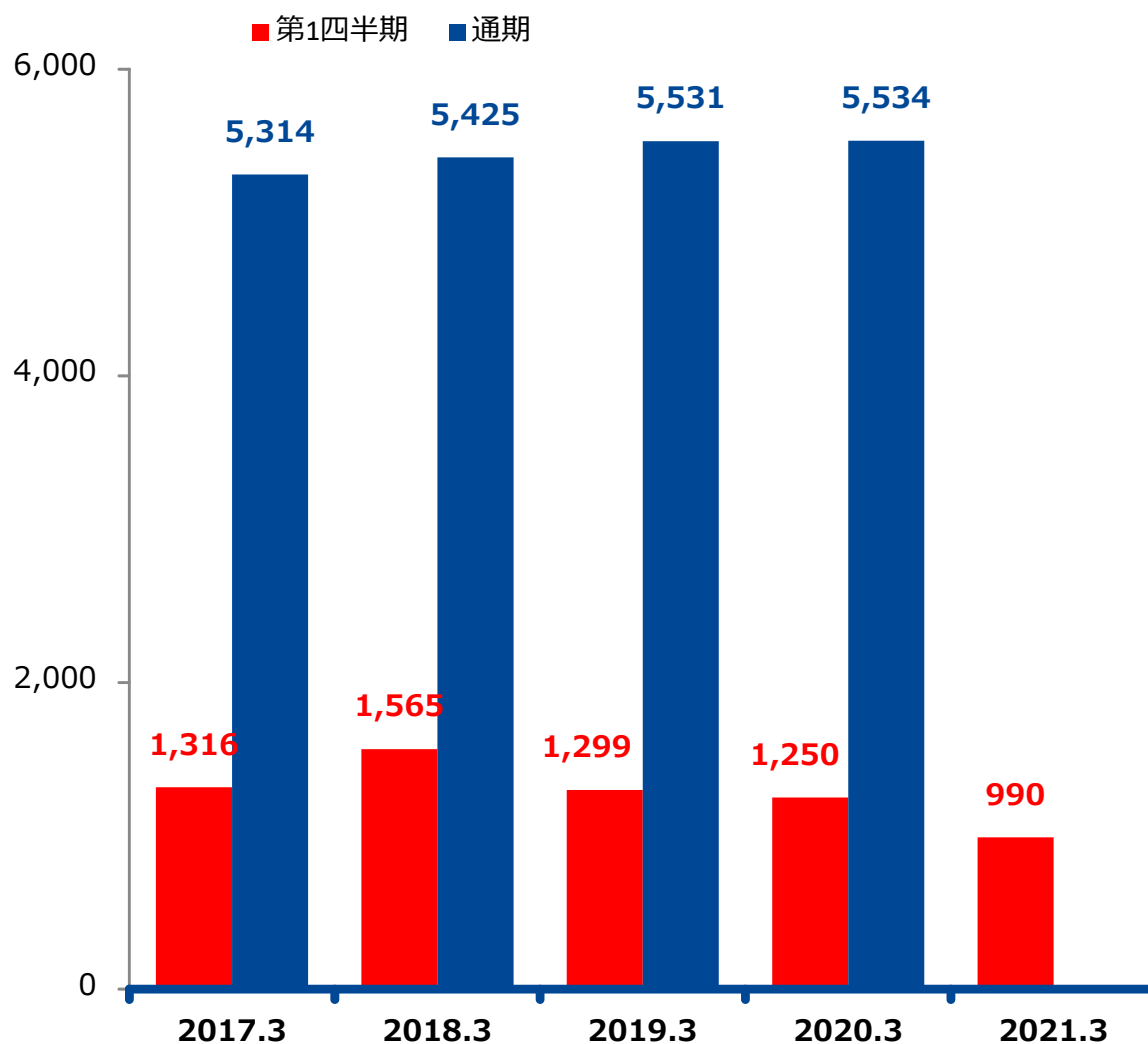
(前年同期比**21.3%減**)

- ✓ 緊急性が低い治療の延期による症例数減
- ✓ 新規販売活動の自粛による減少

	実績 (百万円)	前年同期 実績 (百万円)	増減率 (%)
SPNC	271	276	△1.9
その他	456	648	△29.6
合計	727	925	△21.3

売上総利益

(単位：百万円)



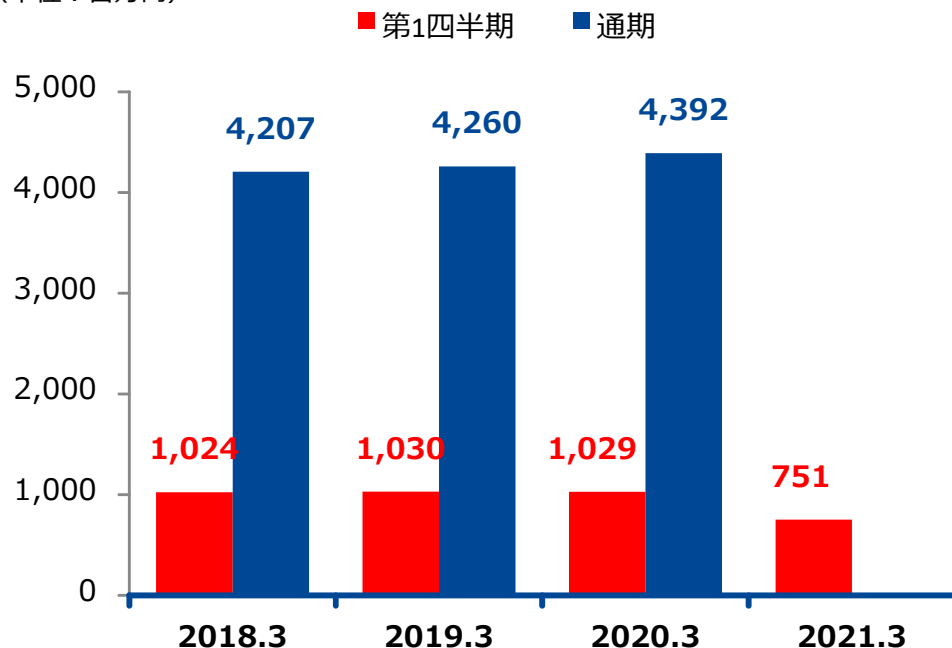
前年同期比**20.8%減**の
9.9億円

	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	751	△27.0
虚血	154	△2.7
その他	83	+33.4
合計	990	△20.8

事業別売上総利益

不整脈事業

(単位：百万円)



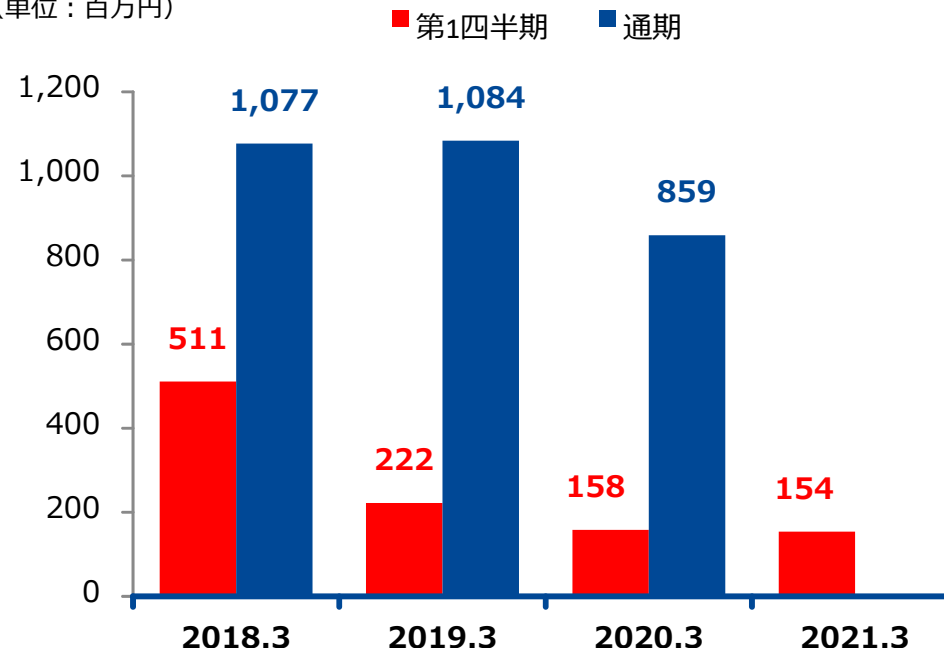
セグメント利益7.5億円

(前年同期比27.0%減)

- ✓ 粗利益率10.3% (前年同期10.8%)
- ✓ 医療機関からの値下げ要請、仕入先からの値上げ要請対応により粗利益率低下

虚血事業

(単位：百万円)



セグメント利益1.5億円

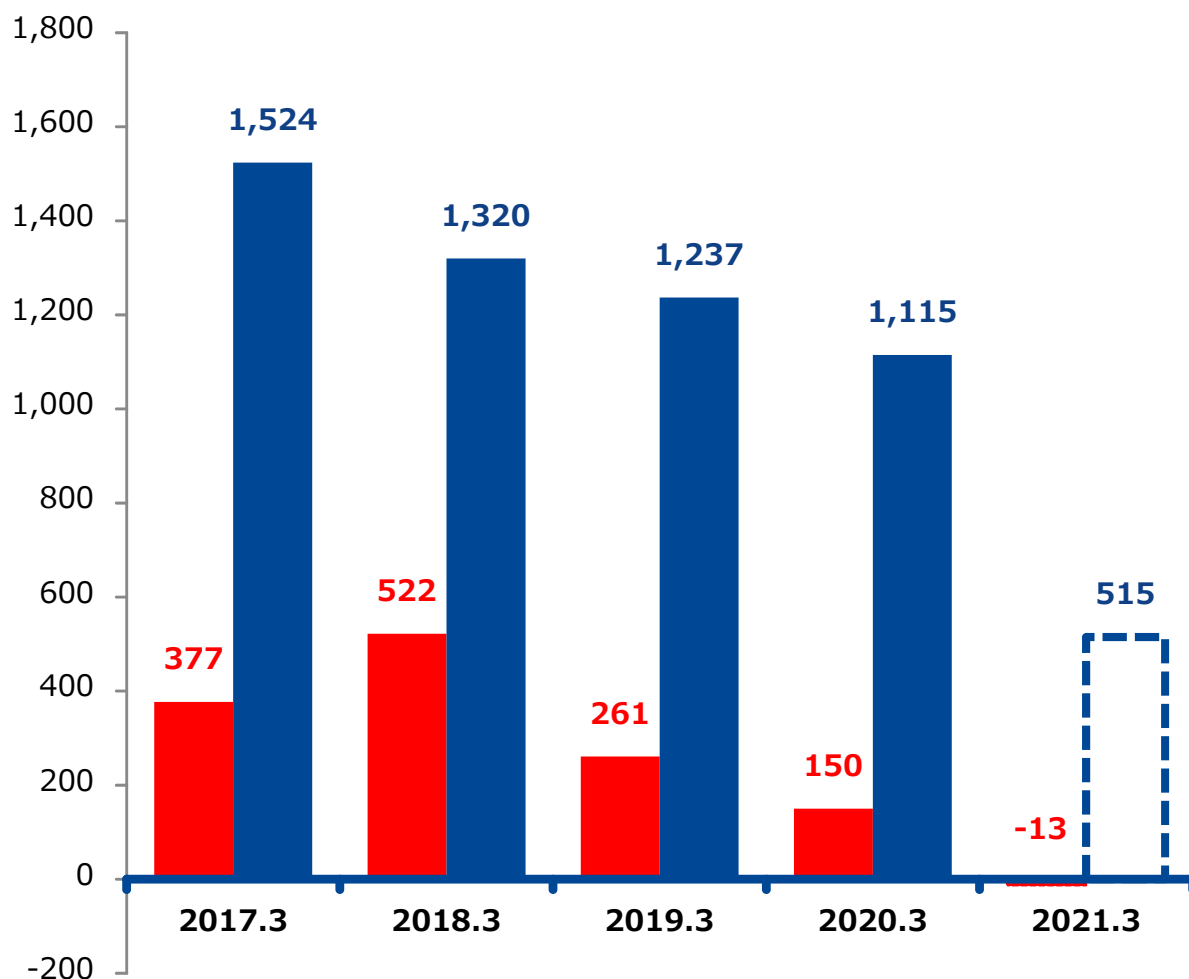
(前年同期比2.7%減)

- ✓ 粗利益率21.2% (前年同期17.2%)
- ✓ レーザー本体販売により粗利益への影響は少

営業利益又は営業損失

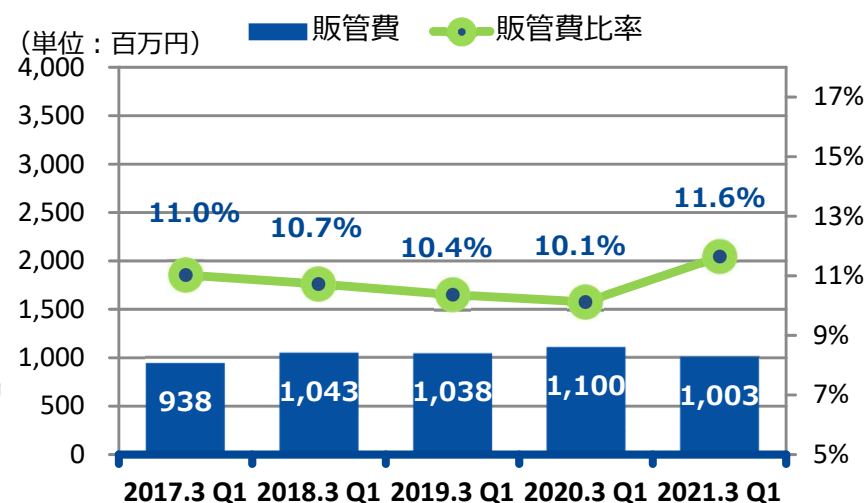
(単位：百万円)

■ 第1四半期 ■ 通期



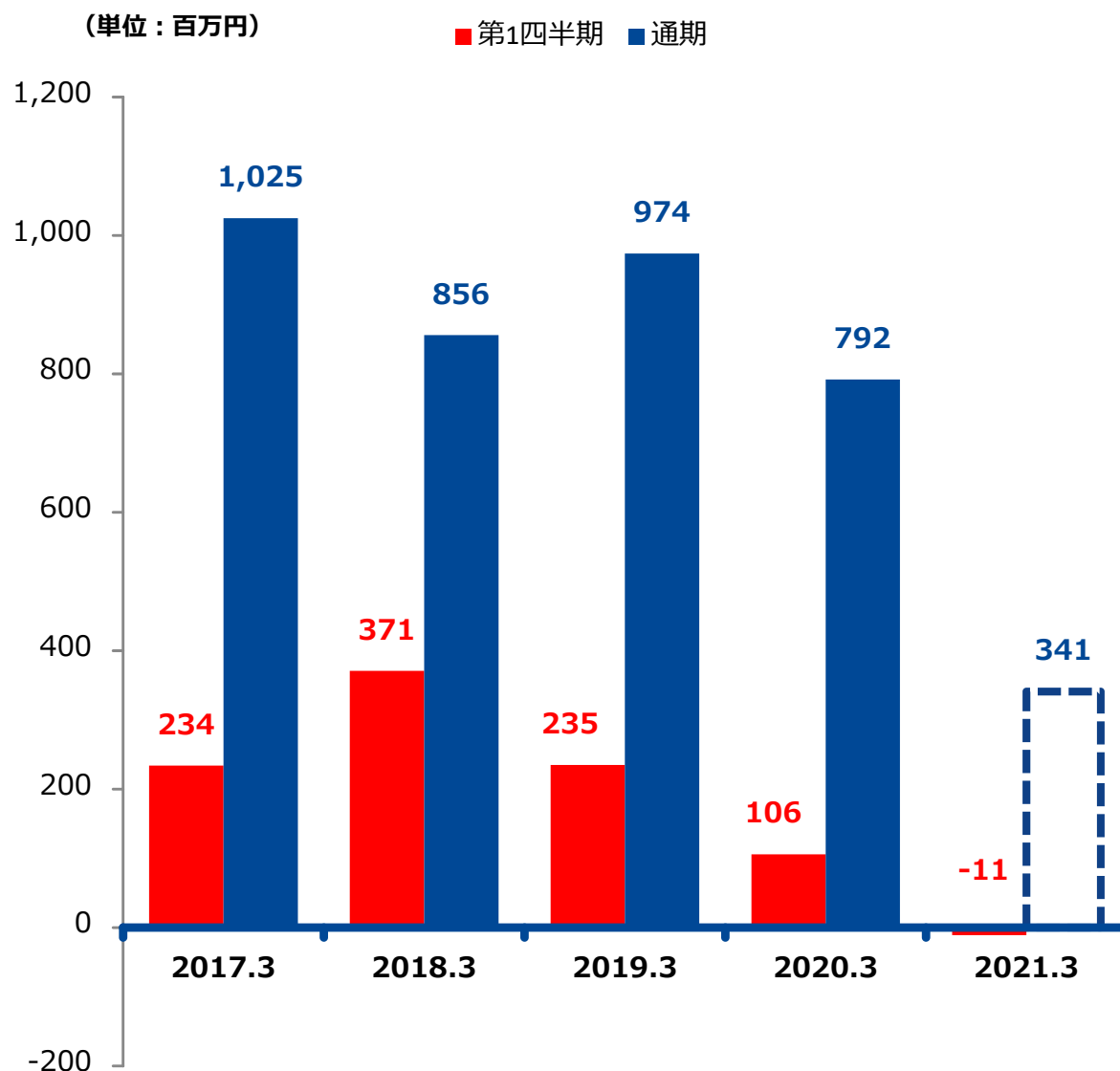
営業損失 $\triangle 0.1$ 億円
(前年同期は+1.5億円)

- ✓ 売上総利益が20.8%減少
- ✓ 販管費が営業活動の自粛の影響により旅費交通費など8.8%減少
- ✓ 売上高販管費比率は前年同期比1.5ポイント悪化



四半期純利益又は四半期純損失

DVx デイブイエックス株式会社



四半期純損失

△ 0.1億円

(前年同期は+1.0億円)

- ✓ 営業外収益：受取保険金7百万円の減少
- ✓ 営業外収益：為替差益1百万円の減少
- ✓ 営業外費用：貸倒引当金繰入額2百万円の減少
- ✓ 税金費用：法人税等53百万円の減少

要約貸借対照表 (第1四半期末)

	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末実績 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	16,024	91.4	18,831	△14.9	● 現預金の減少 (△179百万円) ● 売上債権の減少 (△2,209百万円) ● 商品の減少 (△329百万円)
固定資産	1,515	8.6	1,535	△1.3	● 営業用資産 (デモ・レンタル機) などの取得による増加 (37百万円) ● 差入保証金の減少 (△50百万円)
資産合計	17,540	100.0	20,367	△13.9	
流動負債	9,802	55.9	12,373	△20.8	● 仕入債務の減少 (△2,452百万円) ● 賞与引当金の減少 (△112百万円)
固定負債	427	2.4	426	+0.1	● 役員退職慰労引当金の減少 (△68百万円) ● その他固定負債の増加 (60百万円)
負債合計	10,230	58.3	12,800	△20.1	
純資産	7,310	41.7	7,566	△3.4	● 四半期純損失 (△11百万円) ● 剰余金の配当による減少 (△246百万円)
負債純資産合計	17,540	100.0	20,367	△13.9	

2. 業績予想

新型コロナウイルスの影響

依然として新型コロナウイルスの影響は収束しておりませんが、当社業績への影響は2020年6月以降収束に向かい、2020年9月まで影響が継続、第3四半期以降は一定範囲の影響に収まる想定に変更なし。

2020年7月に当社従業員に感染者が発生しましたが、それによる営業所の閉鎖には至っておりません。

引き続き感染リスクを軽減するためのあらゆる対策を講じ、医療の安全、安心のために安定して商品を生供給し続けることを使命とし企業活動を行ってまいります。

進捗率

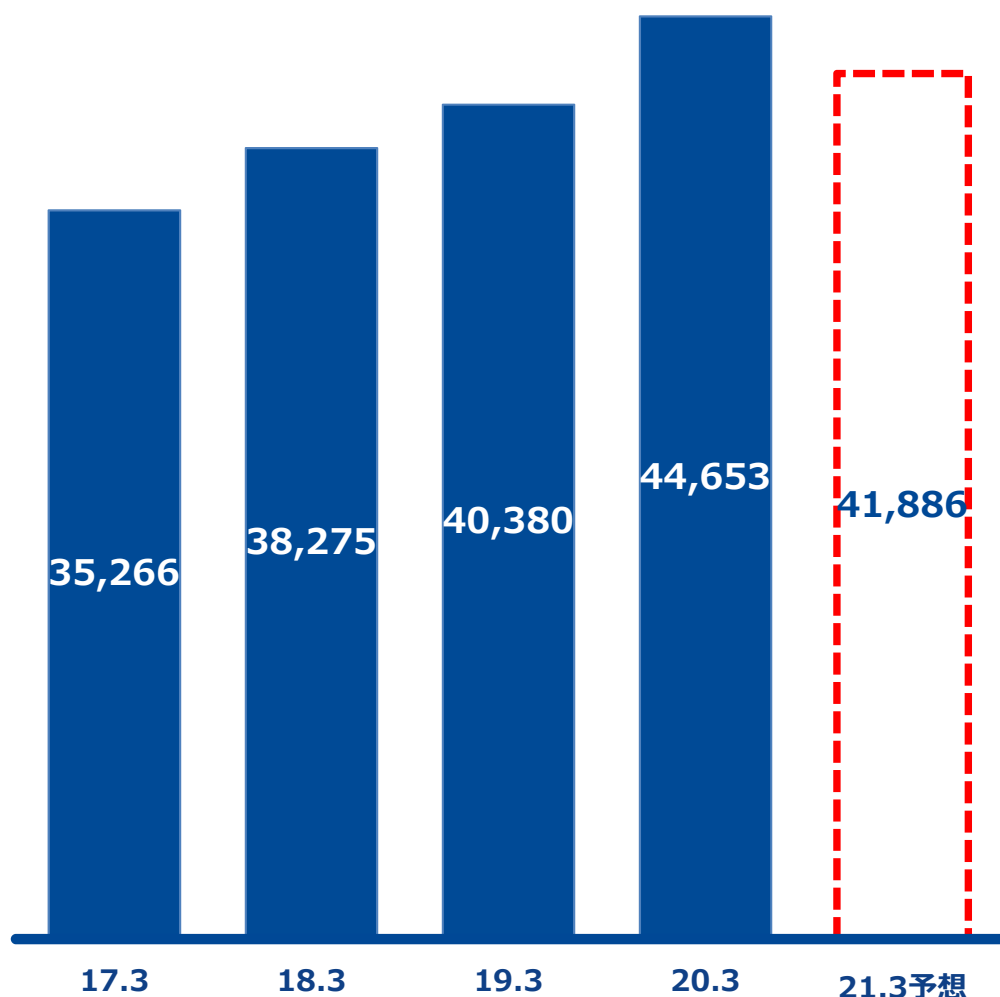
2021年3月期計画（進捗率）

（単位：百万円）

	通期 (計画)	上期 (計画)	当第1四半期 累計(実績)	進捗率 (通期)	進捗率 (上期)
売上高	41,886	17,979	8,623	20.6%	48.0%
営業利益又は 営業損失（△）	515	△51	△13	—	—
経常利益又は 経常損失（△）	514	△52	△13	—	—
当期純利益又は 四半期純損失（△）	341	△52	△11	—	—

通期業績予想（売上高）

（単位：百万円）



予想売上高 418.8億円

（前期比6.2%減）

✓第1四半期の症例数減少による減収分については、医療提供体制確保のための病床確保が引き続き行われることなどから、第2四半期以降での挽回は難しいと想定

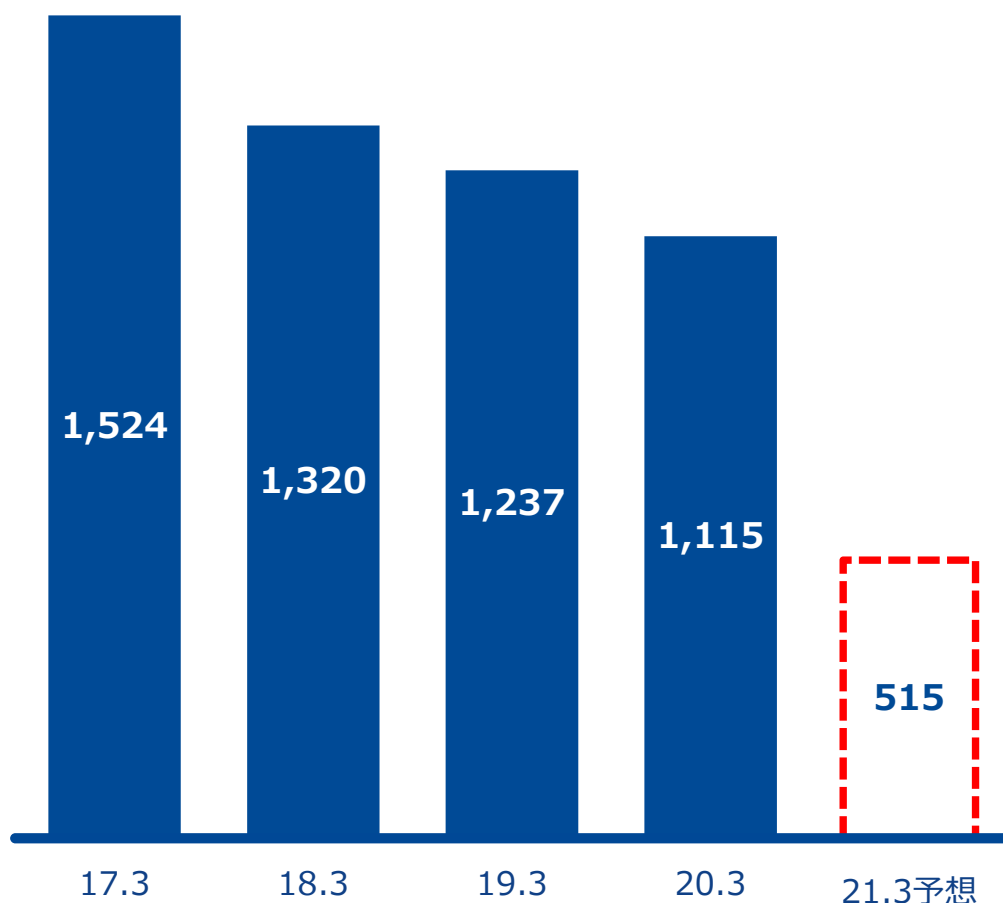
※業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の第2波や再びの救急事態宣言の事態については想定・反映しておりません

通期業績予想（営業利益）

（単位：百万円）

予想営業利益 5.1億円

（前期比53.8%減）



✓経費節減努力や移動制限による旅費交通費の減少など販管費の減少を見込むが、売上減少による粗利益の減少分をカバーできず

※業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の第2波や再びの救急事態宣言の事態については想定・反映しておりません

通期業績予想（当期純利益）

（単位：百万円）

予想当期純利益3.4億円

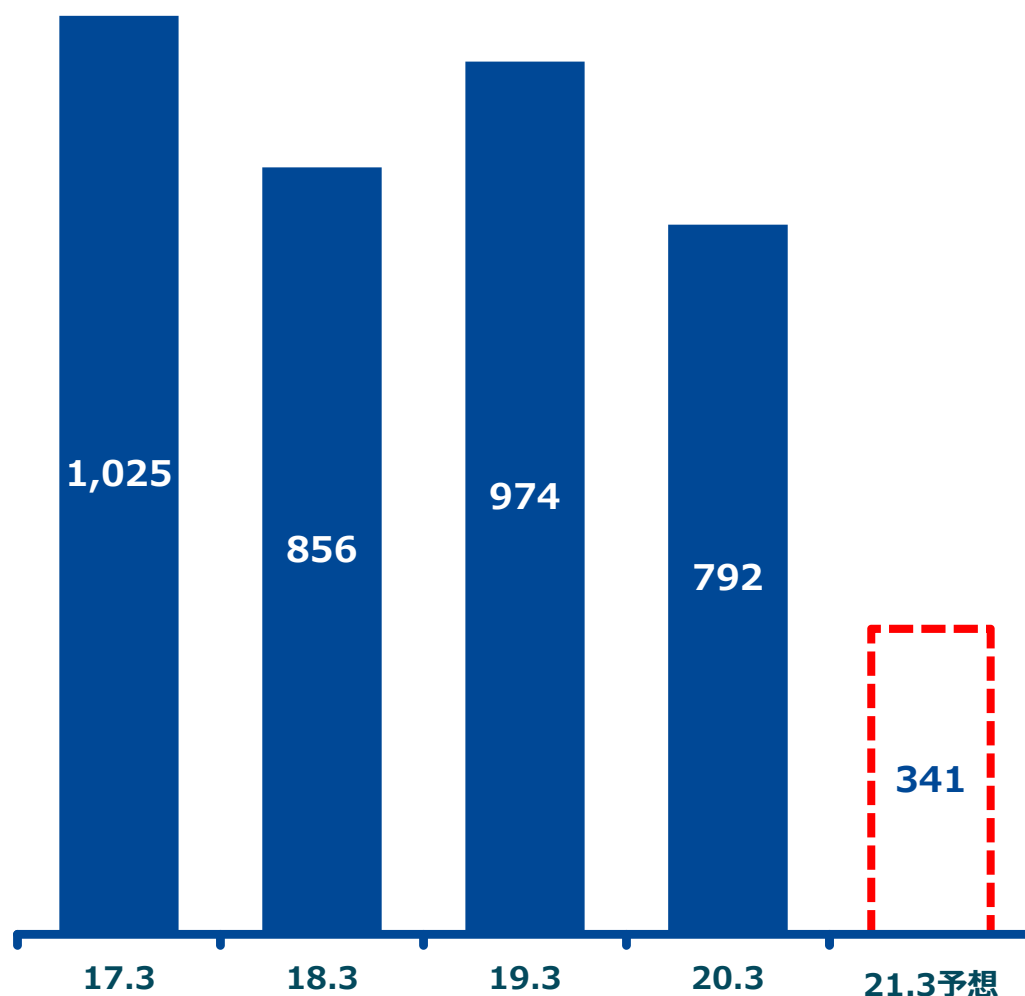
（前期比56.9%減）

予想EPS 33.21円

（前期実績75.56円）

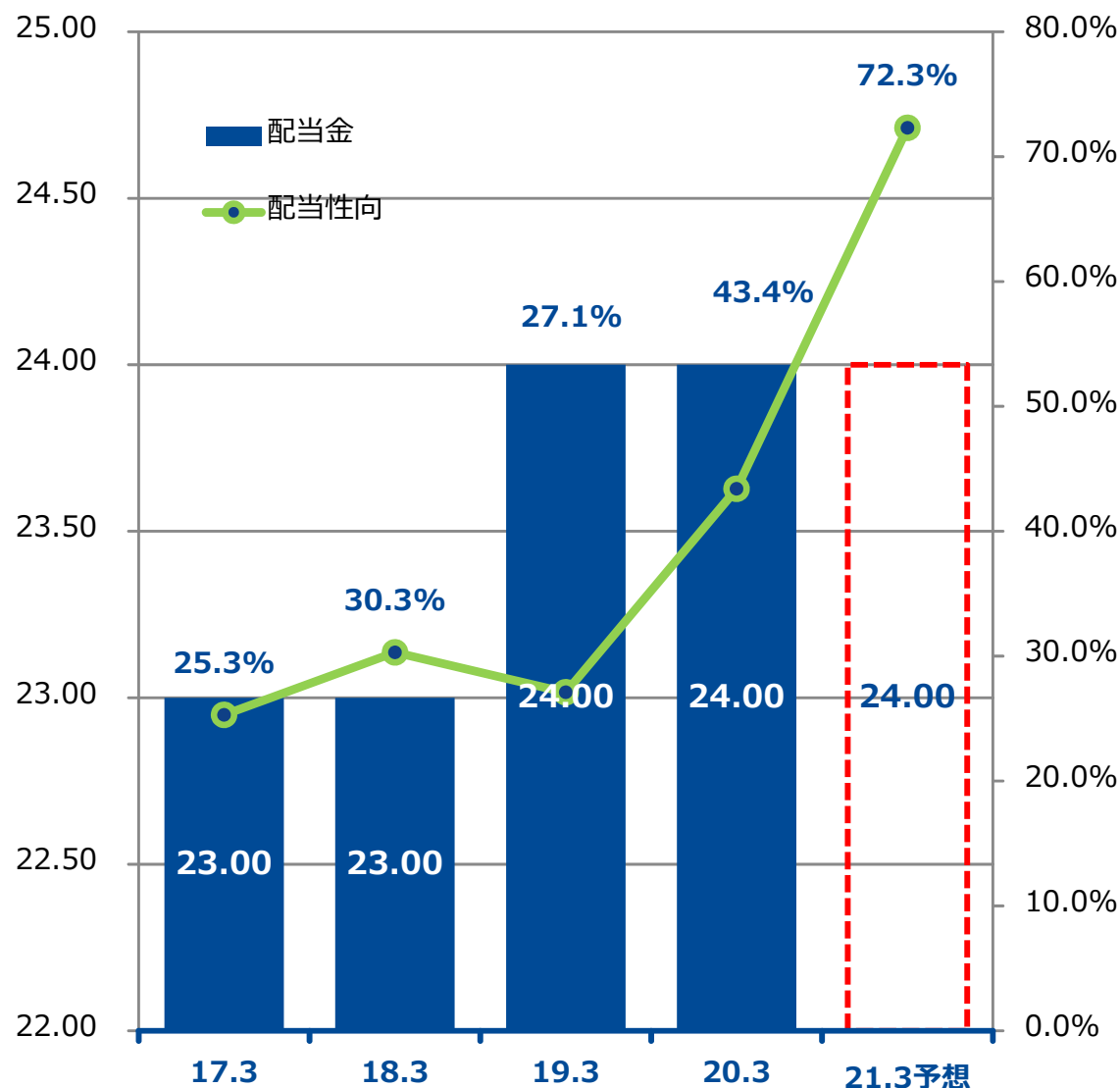
- ✓ 営業利益600百万円の減少
- ✓ 営業外収益9百万円の減少
- ✓ 特別損失23百万円の減少
- ✓ 税金費用136百万円の減少

※業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の第2波や再びの救急事態宣言の事態については想定・反映しておりません



2021年3月期 配当金予想

(単位：円)



予想期末配当 24円
(予想配当性向 72.3%)

継続的かつ安定的な配当
による株主還元を行うこ
とを基本として配当を決
定する方針を継続

 Development
Venture
X (無限の可能性)

■ I R についてのお問い合わせ先 財務経理部



TEL : 03-5985-6832 FAX : 03-5985-6106 U R L <http://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。